



プレスリリース

平成28年9月27日

BSL-4施設について考えるシンポジウムを開催

国立大学法人 長崎大学は、現在検討中のBSL-4施設の坂本キャンパス設置について、その必要性や安全性に関する議論を深め、市民の皆様の理解を深めていただくために、下記のとおり10月10日（月）14時から、医学部記念講堂（長崎市坂本1丁目12-4）でシンポジウムを開催します。

本シンポジウムでは、国境なき医師団日本・前会長の黒崎伸子医師に、自らの体験を通してこれからの感染症対策についてお話しいただくほか、日本で唯一BSL-4施設を運用する国立感染症研究所の西條政幸ウイルス第一部長のプレゼンテーションも予定しています。また、パネルディスカッションではパネリストとして市民も参加し、坂本地区設置の妥当性について、専門家との討論も予定しています。

広く市民の皆様の参加を期待しておりますので、メディアの皆様に告知のご協力をお願いする次第です。よろしくお願いいたします。

記

シンポジウム：「感染症対策の未来」（共催／国立大学法人長崎大学 文部科学省）

開催日時：平成28年10月10日（月・祝）14:00～17:00

開催場所：長崎大学医学部記念講堂（長崎市坂本1丁目12-4）

募集定員：400人（事前登録制、定員に満たない場合は当日参加も受け付けます）

※ 事前登録はお問い合わせ先へ電話かネットで受け付けます。ネットの事前登録サイトは長崎大学HPに明日開設予定です。

（シンポジウムの主な内容）

- 基調講演：「これからの感染症に対して…人道援助団体の経験から」
黒崎伸子（医師、国境なき医師団日本・前会長）
- プレゼンテーション1：「感染症教育研究拠点形成と長崎大学」
安田二郎 長崎大学熱帯医学研究所教授
- プレゼンテーション2：「長崎大学による感染症教育研究拠点形成への取組み」
調 漸 長崎大学副学長・学長特別補佐
- パネルディスカッション：「坂本キャンパスへのBSL-4施設設置を考える」
モデレーター：小玉 祥司 日本経済新聞社科学技術部シニア・エディター
※パネリストとして地域住民も参画予定です。

以上

【お問い合わせ先】

長崎大学BSL-4施設設置検討準備室 土屋、福嶋、蓑毛(みのも)

電話番号：0120-095819